

令和5年度 東久留米市「学力定着度調査」結果について 正答率分布《市及び全国全体》

1 調査日時

令和6年2月2日（金）

2 調査対象

小学校第2・4・6学年、中学校第2学年

3 調査内容

教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

◆教科の観点別集計 平均得点率（％）

（ ）は全国、 は全国平均を上回った分野
「2観点」…「知識・技能」と「思考・判断・表現」

教科	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	2観点平均
国語（小2）		80.3（82.8）	65.1（67.2）	81.5（81.2）	72.7（75.0）
国語（小4）		67.2（73.1）	60.0（66.8）	77.5（80.3）	63.6（70.0）
国語（小6）		67.3（72.6）	66.0（70.1）	75.7（78.9）	66.7（71.4）
国語（中2）		63.3（64.2）	65.1（65.1）	72.9（76.1）	64.2（64.7）

教科	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	2観点平均
算数（小2）		76.2（80.8）	56.0（65.2）	81.4（82.1）	66.2（73.0）
算数（小4）		61.4（69.7）	43.1（54.0）	77.2（80.7）	52.3（61.9）
算数（小6）		66.9（75.5）	61.2（66.7）	76.2（79.3）	64.0（71.1）
数学（中2）		67.7（70.9）	56.9（58.0）	72.3（76.8）	62.3（64.5）

◆領域別調査結果の平均得点率（％）

教科	領域	I 話すこと・聞くこと	II 書くこと	III 読むこと
国語（小2）		76.7（78.7）	68.7（71.8）	70.6（72.3）
国語（小4）		71.6（72.8）	51.3（62.9）	63.8（70.8）
国語（小6）		69.6（73.6）	63.1（69.7）	67.4（69.8）
国語（中2）		62.7（62.8）	70.5（70.5）	59.9（60.9）

教科	領域	I 数と計算	II 図形	III 測定・データの活用	
算数（小2）		71.0（77.7）	57.1（66.9）	71.9（75.6）	
教科	領域	I 数と計算	II 図形	III 変化と関係	IV データの活用
算数（小4）		60.8（68.0）	53.8（67.9）	38.0（42.6）	49.9（59.3）
算数（小6）		63.8（72.4）	63.7（70.5）	64.9（71.4）	63.2（69.0）
教科	領域	I 数と式	II 図形	III 関数	
数学（中2）		61.5（63.8）	68.4（70.5）	59.8（62.1）	

◆観点別出現率（％）

棒グラフ（左）：東久留米市 棒グラフ（右）：全国
縦軸：評定出現率（％） 横軸：評定 A十分満足できる Bおおむね満足できる C努力を要する



国語

◆2観点の領域別集計

I 話すこと・聞くこと II 書くこと III 読むこと

国語（小2）

領域	大 中	内 容	得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較		
						←低い	全国=100	高い→
I	1	伝わるように話す・話し合う	67.6	71.4	95			
I	2	大事なことを聞き取る	83.0	84.7	98			
I	3	ていねいな言葉で話す	79.1	79.0	100			
II	4	事柄や順序を考え書く・推敲する	59.4	62.8	95			
II	5	文や文章を正しく書く	50.7	54.8	93			
II	6	漢字の書き・片仮名の書き	88.4	90.7	97			
III	7	内容の大体を捉える・感想の共有	69.7	74.3	94			
III	8	重要な語や人物の行動を捉える	62.4	61.9	101			
III	9	漢字の読み、主語述語の理解	84.1	87.8	96			

国語（小4）

領域	大 中	内 容	得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較		
						←低い	全国=100	高い→
I	1	構成を考え話す・話し合う	62.6	64.5	97			
I	2	工夫して話す・内容を捉えて聞く	73.2	72.8	101			
I	3	接続詞の理解、慣用句の理解	80.8	82.6	98			
II	4	構成を考え書く・推敲する	50.0	63.8	78			
II	5	目的に応じて工夫して書く	54.1	60.3	90			
II	6	漢字の書き	52.0	63.3	82			
III	7	主題を読み取る・考え感想の共有	71.2	73.4	97			
III	8	詳細を読み取って解釈する	58.8	68.0	86			
III	9	漢字の読み、短歌・俳句など	63.0	71.4	88			

国語（小6）

領域	大 中	内 容	得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較		
						←低い	全国=100	高い→
I	1	構成を考え話す・話し合う	68.6	73.0	94			
I	2	話を聞き内容を捉える	81.4	82.4	99			
I	3	敬語	56.4	63.5	89			
II	4	構成を考え書く・推敲する	58.4	66.0	88			
II	5	目的に応じて工夫して書く	68.2	73.2	93			
II	6	漢字の書き・熟語の構成	62.9	69.9	90			
III	7	主題を読み取る・感想の共有	61.2	62.5	98			
III	8	詳細を読み取って解釈する	57.9	62.3	93			
III	9	漢字の読み・助詞や助動詞の理解	83.8	84.6	99			

国語（中2）

領域	大 中	内 容	得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較		
						←低い	全国=100	高い→
I	1	構成を考え話す・話し合う	68.2	69.0	99			
I	2	話を聞き内容をとらえる	66.9	67.0	100			
I	3	情報の扱い方	53.0	52.3	101			
II	4	構成を考え書く・推敲する	69.5	73.3	95			
II	5	目的に応じて工夫して書く	55.1	54.4	101			
II	6	漢字の書き・同訓異字等	79.5	78.2	102			
III	7	主題や構成を読み取る	61.7	60.5	102			
III	8	要点をとらえ内容を解釈する	69.6	67.7	103			
III	9	漢字の読み・古典・単語の活用等	54.5	57.7	94			

◆主体的に学習に取り組む態度 質問内容別集計

国語（小2）

項 目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	7.4	7.4	100			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	6.8	6.8	100			
3 教科学習への興味関心	7.5	7.5	101			
4 教科に関する自信	7.6	7.5	103			

国語（小4）

項 目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.4	9.8	94			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.2	8.7	92			
3 教科学習への興味関心	9.8	10.0	95			
4 教科に関する自信	9.7	10.0	94			

国語（小6）

項 目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.3	9.5	96			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.2	8.7	91			
3 教科学習への興味関心	9.1	9.7	89			
4 教科に関する自信	9.7	9.9	95			

国語（中2）

項 目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.0	9.4	95			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.0	8.5	91			
3 教科学習への興味関心	8.8	9.3	91			
4 教科に関する自信	9.2	9.3	98			

小学校【国語】の結果について

「2観点の領域別集計」では、2年生の得点率が他の学年よりも高く、学年が上がると低くなる傾向が見られる。

領域別に見ると、「I 話すこと・聞くこと」は全国と同等であるものの得点率が低い。また、「II 書くこと」は全国と比べて他の領域よりも得点率が低く、低学年の段階から課題となっている。

中領域で見ると、どの学年も「2 聞く」領域は全国とほぼ同等である。一方、どの学年も「4 構成を考え書く・推敲する」領域は全国と比べて他の領域よりも得点率が低い。また、4年生・6年生では、「漢字の書き・熟語の構成」「8 詳細を読み取って解釈する」領域の得点率も他の領域よりも低く、課題となっている。

これらのことから、どの学年においても、基礎的・基本的な言語事項を確実に習得させ、伝えたいことを自分の言葉で表現する言語活動を充実させることが必要である。そのためには、反復学習の徹底や文章を読んで考えを書くなどの帯学習の実施、一人1台端末を活用した文章の推敲など、課題の応じた学習活動の充実や授業改善の推進が求められる。

「主体的に学習に取り組む態度」では、2年生の得点が他の学年よりも高く、学年が上がると低くなる傾向が見られる。

項目別に見ると、どの学年も「2 教科学習を自己調整しようとする態度」「3 教科学習への興味関心」の得点が他の項目よりも低い。

これらのことから、自己調整する態度を育むために、授業中の形成的評価や授業後の振り返りを確実に設定して、自分は何ができて（分かって）何ができなかったか（分からなかったか）を児童自身が整理し、改善策を考え、次時へ向かうようにすることが必要である。また、教科学習への興味関心を高めるために、教科書の二次元コードから関連する内容を確実に学んだり、交換授業等により専門性の高い授業を提供したりすることが必要である。

中学校【国語】の結果について

「2観点の領域別集計」では、全国とほぼ同等又は全国を上回った。

中領域で見ると、「4 構成を考え書く・推敲する」領域の得点率が全国と比べて低く、小学校と共通している。また、「9 漢字の読み・古典・単語の活用等」の得点率も全国と比べて低い。

「主体的に学習に取り組む態度」を項目別に見ると、「2 教科学習を自己調整しようとする態度」「3 教科学習への興味関心」の得点が他の項目よりも低く、小学校と共通している。

これらのことから、日々の授業において、目標と振り返りを確実に設定し、学習を自己調整する態度を養うとともに、一人1台端末を活用した文章の推敲など、課題の応じた学習活動の充実や授業改善の推進が必要である。

算数・数学

◆ 2観点の領域別集計

算数(小2) I数と計算 II図形 III測定・データの活用

領域	内容	得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較		
					←低い	全国=100	高い→
I-1	数の構成と表し方	84.0	81.7	103			
I-2	たし算とひき算	63.1	76.2	83			
I-3	かけ算	67.6	76.0	89			
II-4	三角形や四角形	57.1	66.9	85			
III-5	長さ、かさ	65.1	72.4	90			
III-6	時間の単位	76.9	76.3	101			
III-7	表やグラフ	81.0	82.0	99			

算数(小4) I数と計算 II図形 III変化と関係 IVデータの活用

領域	内容	得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較		
					←低い	全国=100	高い→
I-1	整数の表し方	77.4	79.0	98			
I-2	がい数と四捨五入	28.4	51.3	55			
I-3	わり算	63.7	71.7	89			
I-4	小数のしくみとその計算	76.0	77.8	98			
I-5	かっこを用いた式、四則の性質	54.6	59.4	92			
II-6	平行・垂直と四角形、面積	54.2	69.9	78			
II-7	角の大きさ	53.0	62.8	84			
III-8	割合	38.0	42.6	89			
IV-9	表と折れ線グラフ	49.9	59.3	84			

算数(小6) I数と計算 II図形 III変化と関係 IVデータの活用

領域	内容	得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較		
					←低い	全国=100	高い→
I-1	分数	57.5	69.6	83			
I-2	文字を用いた式	76.2	78.0	98			
II-3	縮図や拡大図、対称な図形	71.0	76.3	93			
II-4	およその面積、円の面積	57.5	65.8	87			
II-5	角柱や円柱の体積	57.1	65.3	87			
III-6	比例	59.9	69.8	86			
III-7	比	70.8	73.2	97			
IV-8	代表値、度数分布表と柱状グラフ	73.0	67.8	108			
IV-9	起こり得る場合	53.3	70.2	76			

数学(中2) I数と式 II図形 III関数

領域	内容	得点率	全国 得点率	全国比	全国との比較		
					←低い	全国=100	高い→
I-1	式の計算	64.9	68.5	95			
I-2	連立方程式	56.8	57.5	99			
II-3	平行線や多角形の角の性質	77.9	79.0	99			
II-4	三角形の合同、証明	61.3	64.1	96			
III-5	1次関数	59.8	62.1	96			

◆ 主体的に学習に取り組む態度 質問内容別集計

算数(小2)

項目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	7.5	7.5	99			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	6.9	6.9	100			
3 教科学習への興味関心	7.3	7.5	96			
4 教科に関する自信	7.7	7.7	100			

算数(小4)

項目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.5	9.8	94			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.4	9.1	87			
3 教科学習への興味関心	9.4	9.8	94			
4 教科に関する自信	9.8	10.0	96			

算数(小6)

項目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.2	9.6	93			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.4	9.0	90			
3 教科学習への興味関心	9.1	9.5	93			
4 教科に関する自信	9.8	9.9	98			

数学(中2)

項目	学年 得点	全国 得点	全国 指数	全国との比較		
				←低い	全国=100	高い→
1 教科学習を粘り強く進める態度	9.0	9.4	93			
2 教科学習を自己調整しようとする態度	8.2	8.8	90			
3 教科学習への興味関心	8.7	9.4	90			
4 教科に関する自信	8.8	9.3	91			

小学校【算数】の結果について

「2観点の領域別集計」では、どの学年も全国と同等又は低い傾向が見られる。

中領域で見ると、2年生では、「2たし算とひき算」の得点率が低く、2位数や3位数の筆算を正しく計算することに加え、筆算の一部を完成させることに課題が見られる。また、「4三角形や四角形」の得点率が低く、三角形や四角形の弁別や図形に直線を引いて正方形や直角三角形をつくることに課題が見られる。4年生では、「2がい数と四捨五入」の得点率が低く、四捨五入の範囲を求めることや概数にして見積もることに課題が見られる。また、「8割合」の得点率が低く、基準量に対する比較量を求めたり説明したりすることに課題が見られる。6年生では、「9起こり得る場合」の得点率が低く、組み合わせを調べることや説明することに課題が見られる。

これらのことから、どの学年においても、計算の理由や仕組みを説明する問題や順序よく論理的に考える問題に課題が見られることから、日々の授業において、単に答えを求めるだけでなく、計算の根拠や考え方について、多面的に捉え、説明し合うなどの学習が必要である。

「主体的に学習に取り組む態度」では、2年生の得点が他の学年よりも高く、学年が上がると低くなる傾向が見られる。

項目別に見ると、国語と同様に「2教科学習を自己調整しようとする態度」が他の項目よりも低い。

このことから、自己調整する態度を育むために、授業中の形成的評価や授業後の振り返りを確実に設定するとともに、習熟度別指導や一人1台端末の活用を推進し、個に応じた指導の充実を図ることが必要である。

中学校【数学】の結果について

「2観点の領域別集計」では、全ての中領域において全国とほぼ同等である。最も得点率が低かった領域は「2連立方程式」であり、問題の場面に合った連立方程式のxが何を表しているかを問うことに課題が見られる。また、ある一定の決まりに沿って計算をする問題を話し合っている場面を読み、当てはまる文字式や連立方程式の解を答えることにも課題が見られる。中学校でも小学校同様に、単に答えを求めるだけでなく、問題の事象や計算について、多面的に捉え、説明し合うなどの学習が必要である。

「主体的に学習に取り組む態度」では、「2教科学習を自己調整しようとする態度」「3教科学習への興味関心」の得点が他の項目よりも低い。

これらのことから、日々の授業において、目標と振り返りを確実に設定するとともに、日常場面を含む活用的な問題解決学習を取り入れるなど、生徒が主体的に取り組む、教科学習への興味関心が高まるような授業改善が必要である。